

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミクシィ

コード番号 2121 URL <http://mixi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠原 健治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 小泉 文明

TEL 03-5738-5900

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,248	—	1,860	—	1,816	—	939	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	6,106.20	6,045.60
21年3月期第2四半期	—	—

(注)平成21年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年3月期第2四半期の数値については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	15,817	14,124	89.3	91,696.26
21年3月期	15,115	13,141	86.9	85,629.02

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 14,124百万円 21年3月期 13,141百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	7.9	3,200	△15.1	3,200	△15.5	1,700	△12.7	11,054.48

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 154,036株 21年3月期 153,466株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 153,784株 21年3月期第2四半期 151,098株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これら業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断を下される様お願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、4ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国の経済は、企業収益、設備投資においては依然厳しい状況にあり、雇用情勢は一段と厳しさを増してきております。ただ、個人消費においては持ち直しの動きもみられるようになってまいりました。内閣府の9月の月例経済報告では、「景気は、失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。」としながらも、依然、生産活動は極めて低い水準にあることなどから、雇用情勢の一層の悪化が懸念されており、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要があるとしております。

インターネット関連業界におきましては、総務省の平成20年「通信利用動向調査」によれば、インターネットの利用者は9,091万人に達し、モバイル端末からの利用者数は7,506万人と増加しております。また、「2008年（平成20年）日本の広告費」（株式会社電通）によれば、2008年のインターネット広告費は、前年比116.3%と引き続き成長を続けております。モバイル広告に関しましても、3G端末や通信料定額制の普及や効果的な広告メディアとしての評価が定着したことから、ナショナルクライアントにおけるマスキャンペーンでの活用が促進されてきております。

このような環境のもと、当社ではインターネットメディア事業が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,248百万円となりました。また、営業利益は1,860百万円、経常利益は1,816百万円、四半期純利益は939百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①インターネットメディア事業

当事業におきましては、ソーシャル・ネットワークキング サービス（以下「SNS」という。）「mixi」のユーザー数は平成21年9月30日現在で約1,792万人、月間ページビュー（以下「PV」という。）はモバイル端末経由（「mixiモバイル」）が約114.4億PV、パソコン経由が約45.2億PVとなりました。「mixi」において、平成21年8月より新しいコミュニケーションサービスである「mixiアプリ」の提供を開始し、パソコン経由のPVに下げ止まりの兆しが見え始めております。また収益面では、「mixiモバイル」の広告販売が好調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,982百万円（うち広告売上高5,513百万円、課金売上高468百万円）、営業利益は2,235百万円となりました。

②インターネット求人広告事業

当事業におきましては、IT系の求人情報に特化することにより他社との差別化を図ること、及び、自社媒体である「mixi」を活用することによる高い広告宣伝効果と広告宣伝費の抑制により、利益率を確保しながら収益の拡大を目指して参りました。

一方で、求人広告市場においては有効求人倍率が低下を続けていること等、引き続き事業環境が悪化しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は265百万円、営業利益は188百万円となりました。

③その他事業

当事業は、中国を含めた新規事業となっております。中国におきましては、メディア力の拡大に注力しており、売上高は計上しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の営業損失は86百万円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため前年同四半期との比較分析は行っておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

前連結会計年度末から当第2四半期連結会計期間末までの財政状態の主な変動としましては、資産については流動資産が13,192百万円から13,788百万円に増加したことが挙げられます。負債及び純資産については流動負債が1,974百万円から1,692百万円に減少し、利益剰余金が5,746百万円から6,685百万円に増加したことが挙げられます。

増減の主な要因としましては、流動資産においては、現金及び預金の増加によるもの、流動負債においては、未払金及び法人税等の支払いによる減少であります。また、利益剰余金においては、四半期純利益の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して1,517百万円の増加となり、残高は11,888百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は1,020百万円となりました。これは主に、法人税等の支払い990百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,809百万円となったことにより増加したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により獲得した資金は441百万円となりました。これは主に、有価証券として保持していた短期国債の満期償還によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により得られた資金は43百万円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行及び連結子会社における借入によるものであります。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため前年同四半期との比較分析は行っておりません。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間におきましては、インターネットメディア事業において、「mixiモバイル」の広告販売が好調に推移いたしました。また、利益につきましては、売上高増加に伴う利益の上昇に加え、同事業におけるモバイルコンテンツ課金にかかるコンテンツ調達費の抑制等により、当初予想より利益が拡大いたしました。

通期の業績予想に関しましては、インターネット広告市場及び求人市場の先行きは引き続き不透明であり、また下期には、「mixiアプリ」をはじめとした重点施策や登録制の開始に伴うマスプロモーション等への投資も予定しているため、前回予想より変更しておりません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,888	10,371
売掛金	1,639	1,583
有価証券	—	999
その他	264	242
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	13,788	13,192
固定資産		
有形固定資産		
建物	169	167
減価償却累計額	△42	△33
建物(純額)	126	134
工具、器具及び備品	1,873	1,838
減価償却累計額	△1,090	△936
工具、器具及び備品(純額)	783	902
有形固定資産合計	910	1,037
無形固定資産		
その他	206	194
無形固定資産合計	206	194
投資その他の資産		
その他	920	696
貸倒引当金	△7	△4
投資その他の資産合計	912	692
固定資産合計	2,028	1,923
資産合計	15,817	15,115
負債の部		
流動負債		
未払金	430	714
短期借入金	14	—
未払法人税等	885	1,013
賞与引当金	49	44
その他	312	202
流動負債合計	1,692	1,974
負債合計	1,692	1,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,740	3,725
資本剰余金	3,710	3,695
利益剰余金	6,685	5,746
株主資本合計	14,136	13,167
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△11	△26
評価・換算差額等合計	△11	△26
純資産合計	14,124	13,141
負債純資産合計	15,817	15,115

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,248
売上原価	1,252
売上総利益	4,995
販売費及び一般管理費	3,135
営業利益	1,860
営業外収益	
受取利息	12
その他	0
営業外収益合計	13
営業外費用	
支払利息	0
為替差損	4
持分法による投資損失	16
投資事業組合運用損	35
その他	0
営業外費用合計	57
経常利益	1,816
特別損失	
固定資産除却損	7
特別損失合計	7
税金等調整前四半期純利益	1,809
法人税、住民税及び事業税	866
法人税等調整額	3
法人税等合計	870
四半期純利益	939

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年4月1日
至 平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,809
減価償却費	220
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4
受取利息及び受取配当金	△12
支払利息	0
為替差損益 (△は益)	2
持分法による投資損益 (△は益)	16
投資事業組合運用損益 (△は益)	35
固定資産除却損	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△55
未払金の増減額 (△は減少)	△118
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39
その他	128
小計	2,001
利息の受取額	9
利息の支払額	△0
法人税等の支払額	△990
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△190
無形固定資産の取得による支出	△88
投資有価証券の取得による支出	△246
貸付けによる支出	△30
その他	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	441
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	14
株式の発行による収入	29
財務活動によるキャッシュ・フロー	43
現金及び現金同等物に係る換算差額	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,517
現金及び現金同等物の期首残高	10,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,888

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	インターネットメディア事業	インターネット求人広告事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,982	265	—	6,248	—	6,248
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	5,982	265	—	6,248	(—)	6,248
営業利益又は営業損失(△)	2,235	188	△86	2,337	(△476)	1,860

(注) 1. 事業区分の方法

事業は内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主なサービス

インターネットメディア事業・・・SNS「mixi」の運営

インターネット求人広告事業・・・IT系求人サイト「Find Job!」の運営

その他事業・・・海外(中国)事業、その他新規事業

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高の合計が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。